

建設DX特集

朝日工業社 × ワールドコーポレーション

# デジタルツールを活用した チーム派遣の取組



朝日工業社  
本店工事統括部長  
木村 明彦 氏

人材不足と長時間労働が課題となっている建設業は、大きな転換期を迎えている。空調衛生設備工事を手掛ける朝日工業社(港区)は、建設業界に技術者を派遣するワールドコーポレーション(千代田区)と設備工事現場の工程内検査や試運転調整業務などに特化した、ICT支援人材(チーム派遣)体制の構築に取り組んでいる。朝日工業社本店の木村明彦工事統括部長に現状の取り組み内容と今後の展望を聞いた。

「両社が連携した背景を教えてください。」

「建設現場の施工管理業務の課題とチーム派遣体制におけるICT支援人材の導入は、現場の課題解決につながる。両者の意思が一致した取り組みだ。2024年は労働時間削減を本気で実践していかなければならない。初年度と考えている。これまでの準備期間で試行錯誤してきたDX・働き方改革で成果はあるものの、本質的な打開策は見いだせない状況だった」

「現在行っている現場支援業務(工程内検査)とは。また課題感があれば。」

「ICT支援人材を活用する一番の目的は、当社の社員が重要な業務に専念できる環境をつくること。そのためには、従来のワークフローからシステム化し無駄な部分をそぎ取り、新しいワークフロー構築も必要だと感じている。重要な業務の

一つとして、品質管理業務に当たる工程内検査が挙げられる。煩雑で大変な業務であるため、残業の発生要因となっていることが分かってきた。こうした業務を改善し、社員の負担を減らす必要がある。現在、2現場で工程内検査の支援を実施している。2025年には8現場に拡大し、さらに5年後には全ての現場で展開していく予定だ」

「課題感としては、現場担当者やチーム派遣メンバー間での業務のすみ分けである。共通スケジュールや実施項目をまとめた検査依頼シートを用いているが、現場数が増えていると管理方法に課題が残る。技術的な点では、アウトソーシングを行うことで当社若手社員の経験の場が少なくなるのも確かなので技術力低下の懸念がある。経験を補う意味で社員、外注社員と隔てなく毎月勉強会・外部研修を開催し技術力低下の防止に努めている。

「経営目線で言うと、新しいことへのチャレンジは短期的なコスト増加につながるが、長期的な効果を期待して生産性向上を目指していく」

「われわれは水を扱っているため、水系の試運転や配管に水を入れる作業もある。漏水があると事故につながりやすく、アウトソーシングが難しかった。こうした業務もシステム化してアウトソーシングしていきたいと考えている」

「チーム派遣で生まれる導入効果と期待する相乗効果とは。」

「業務に特化することで一つの仕事を覚える成長が早くなる。業務を覚えられた人が、また人に教えるような組織を目指していく。また、現場管理者の残業時間削減はもちろんのこと、検査に特化した人材による品質の標準化と検査時間の効率化が図れる。また、第三者機関的に工程内検査を行うことでお客様から検査に対する信頼感が得られると期待している」

「今後の展望について」

「今の取り組みを本店で部署化し首都圏へ広げる。そして全国展開を目指す。また、新たな取り組みとして、ウェアラブルデバイスを導入し、検査業務の遠隔現場を行うことで、さらなる業務効率化や社員の教育ツールとしても見込んでいる」

「こうした、ICT支援人材を活用した取り組みは、建設業界の働き方改革と人材不足の解消に向けた重要な一歩となっている。」



▶ チーム派遣



▶ 作業の様子

参加無料! オンラインセミナー開催

## “DX推進”で残業ゼロを目指す

検査業務を64%削減した当社ICT支援員とは?

開催日時 /  
2024.11.21(木) 15:00~16:00 ~ 設備編 ~  
2024.11.22(金) 15:00~16:00 ~ 建築編 ~



株式会社ワールドコーポレーション  
〒102-0084 東京都千代田区二番町3-5  
麹町三葉ビル3階 TEL:03-6268-9138



建設DX推進事業部 事業部長  
磯谷 泰由 (いそたによしのり)

セミナーお申し込みはこちら

